

令和4年度 環境保全報告書

2023年 7月

株式会社 神戸製鋼所
神戸総合技術研究所

1. 温室効果ガス排出量
2. 活動結果の報告

1. 温室効果ガス排出量

1)電力

当事業所の主要なエネルギー源である電力については、

- ・空調の更新
- ・照明のLED化

を計画的に推進し、電力使用量の削減に努めた。

しかし、事業所全体の電力使用量は大型電気溶解炉の稼働が増加したことで、2022年度の電力使用量は2021年度に比べ約2.25%増加（7,705,000→7,878,300kWh）となった。

2)都市ガス

空調設定温度の適正化や、全社として推進している「サマーエコスタイル」など、削減活動を継続して実施している。ガスヒートポンプタイプの空調機の稼働において、夏季の気温が高かったことが影響して居室部での都市ガス使用量は昨年度比5.3%増加となった。

（193,208→203,487Nm³）

電力使用量、空調用都市ガス使用量ともに増加したことで、全体の二酸化炭素発生量は、2021年度比100トンの増（電力77トンの増+都市ガス23トンの増）となった（表1）。

表1 2021年度-2022年度 二酸化炭素排出量の比較


活動の区分	燃料・焼却物等の種類	年度	使用量等 電気：kWh 都市ガス：Nm ³ (*1)	単位 発熱量 (MJ/Nm ³)	排出係数 (t-CO ₂ /kWh) (kg-CO ₂ /MJ) (*2)	温暖係数	排出量 (t-CO ₂)	増減量 (t-CO ₂)
電力会社から供給される電気を使用	電気	2021年度	7,705,000	-	0.000445	1	3,429	77トンの増
		2022年度	7,878,300		0.000445		3,506	
燃料としての利用	都市ガス	2021年度	193,208	44.2	0.05133	1	438	23トンの増
		2022年度	203,487	44.2	0.05133		462	
計								100トンの増

(*1) 都市ガス使用量：空調使用のみ記載。標準状態（0℃、1atm）での使用量（Nm³）を表記。

(*2) CO₂係数：報告年度の前年度のCO₂排出係数を用いて、算出。

- ・電力…電気事業者別排出係数の関西電力）2020年度の調整後排出係数
- ・都市ガス…当社）環境データ エネルギー詳細の係数を使用

2. 活動結果の報告

分野	項目	活動目標および活動内容	実施状況
電力・都市ガス使用量の抑制	1) 自主活動	<p>○エコアクション 21（以下 EA21）の省エネ意識の継続活動として、空調設定温度の遵守、不要電灯の消灯等の啓発活動を行った。</p> <p>○冷暖房用都市ガス使用量の抑制 2022年度目標(*)=210,430m³以下を目標に掲げ活動した。 (*)2019～2021年度の平均実績を基準値とし、それ以下を目標に活動した。</p> <p>○都市ガス使用空調機の設定温度の適正化。</p>	<p>○空調設定温度の遵守等、定期的に啓発活動を実施した。</p> <p>○冷暖房用都市ガス使用量の抑制 実績：212,603 m³ (203,487N m³) 注) CO2 排出量の算出に用いる際、使用量を N m³に換算。 m³→N m³：1.0448 で除する。</p> <p>目標比：1.0%増加 (*3) (*3) 夏季の気温が高かったことが影響 ○夏季28℃、冬季20℃となる温度で運転している。</p>
	2) 設備更新	○空調の更新	○空調の更新による二酸化炭素排出量削減：22 t-CO ₂ /年 (*4) (*4)メーカー仕様から算出
上水の適正な使用	節水	<p>○上水使用量を 16,260 m³以下 20019～2021 年度の平均実績を基準値とし、それ以下を目標に活動した。</p> <p>EA21 活動の一環として、月毎の上水使用量の監視を継続して実施する。</p>	<p>○実績：15,740 m³/年 目標比：3.2%減</p> <p>毎月の上水使用量を監視。 手洗い場に「節水」の表記（下記、写真参照）を行う等、従業員に周知した。</p> 
物の処理・廃棄物の適正な処理	1) 一般廃棄物の適正処理	○ゴミ箱パトロールを実施し、リサイクル可能なものが無いかどうかの確認。（3回/年）	○分別回収を徹底するための啓発活動を継続的に実施した。
	2) 産業廃棄物の適正処理	○廃棄物の分類を細分化して、より適正な形で廃棄する。	○廃棄物分別状況調査を目的にゴミステーションのパトロールを実施した。

(次頁へ続く)

分野	項目	活動目標および活動内容	実施状況
一般廃棄物の適正処理及び廃棄物の減量・再資源化	3) 一般可燃廃棄物の排出量の抑制	○一般可燃物の排出量：10,020 g/人/年以下 2019～2021 年度の平均実績を基準値とし、それ以下を目標に活動した。	○実績：9,381g/人/年→6.4%減 基準値以下で目標達成。
	4) 資源の有効利用	○コピー用紙使用量：1,150 枚/人/年以下 2019～2021 年度の平均実績を基準値とし、それ以下を目標に活動した。 ○両面コピー、2in1、裏紙使用の徹底。	○実績：636 枚/人/年→44.7%減の 771 枚/人/年 (*5) 基準値以下で目標達成。 (*5) テレワーク・書類電子化の推進により、紙資料配布が不要となり、大幅な削減効果を得た。
化学物質の適正管理	1) 薬品管理	○薬品の棚卸し実施。(2回/年)	○8月および2月に棚卸しを実施した。
	2) 教育	○薬品の取扱い規程について周知、薬品取扱いの講習会の開催。(1回/年)	○薬品管理規則の周知は、完了した ○社外専門家による講習会を実施した。
環境管理の維持	環境マネジメントシステムの認証登録	○EA21 の認証・登録を継続するため、外部審査員による審査を受検する。	○2022 年 11 月に中間審査を受け、合格した。
自動車対策	排気ガスのクリーン化	○低公害・省エネルギーな自動車への転換。	○2022 年度、社用車と構内専用車ともに、更新なし。
環境に配慮した施設・設備	1) 緑地整備	○敷地内及び、周辺の整備を継続する。	○継続実施した。
	2) 環境保全設備の整備	○研究排水設備の点検、保全を徹底する。 ○定期的に水質検査を実施する。 (分析項目及び頻度は、通達に従う)	○設備定期点検実施済み。(毎月) ○定められた通りに水質検査を実施した。
従業員教育	環境に関する教育	○EA21 の 2021 年度実績と 2022 年度計画を周知する。	○EA21 キックオフミーティングで教育資料を提供し、職場毎に実施済み。
		○コベルコエコライフノート(環境家計簿)への参加を奨励し、環境意識啓発を図る。	○研究所内の神鋼従業員を対象に参加の呼びかけを行った。
地域社会への参画	地域社会の環境保全活動等に地域社会の一員として、社員の自主参加により参画することを支援	○就業後に当社周辺のバス停、公園周りや通勤路のゴミ掃除(クリーン活動)を毎月1回実施する。	○事業所周辺のクリーン活動は、コロナ禍のため、中止とした。